

該当するものに丸をして下さい

工事経歴書

各工事現場に置かれた配置技術者について、該当する箇所に✓印を記載して下さい
「業種ごとの必要な資格、」専任制に注意して下さい

PC工事、法面処理工事、鋼橋上部工事については、当該工事であることを確認できる契約書及び仕様書等が必要です。

（建設工事の種類） **土木一式** 工事（税込・税抜）

注文者	元請 又は 下請 の別	JV の 別	工事名	工事現場のある 都道府県及び 市区町村名	配置技術者		請負代金の額		工期			
					氏名	主任技術者又は監理技術者の別（該当箇所に○を記載）	主任技術者	監理技術者	うち、 ・PC ・法面処理 ・鋼橋上部	着工年月	完成又は 完成予定年月	
和歌山県	元請		○橋梁設備工事	和歌山県 和歌山市	和歌山 太郎	✓		110,000 千円		平成〇〇年〇〇月	平成××年××月	
和歌山県	元請		○高架橋上部工事	和歌山県 海南市	石川 三郎	✓		63,000 千円	63,000 千円	平成△△年△△月	平成□□年□□月	
(株)○●建設	下請		×線道路改良工事	和歌山県 橋本市	和歌山 次郎	✓		7,000 千円		平成××年〇〇月	平成△△年□□月	
その他10件								30,000 千円		平成 年 月	平成 年 月	
<p>① 元請工事に係る完成工事について、その請負代金の額の合計額の7割を超えるところまで、請負代金の額の大きい順に記載して下さい 注1. 500万円（建築1,500万円）未満の工事については10件まで記載</p> <p>② ①に続けて、①以外の元請工事及び下請工事に係る完成工事について全ての完成工事高の約7割を超えるところまで、請負代金の額の大きい順に記載して下さい 注1. 500万円（建築1,500万円）未満の工事については10件まで記載（残りの請負工事は「その他〇件、〇〇円」と記載）</p> <p>③ ②に続けて、主な未成工事について、請負代金の額の大きい順に記載して下さい</p>												
							ページごとの完成工事の件数及び請負代金の額の合計を記載		「小計」・「合計」のうち、元請工事に係る請負代金の額の合計を記載			
小計			23 件	210,000 千円	63,000 千円	うち 元請工事	173,000 千円					
合計			23 件	210,000 千円	63,000 千円	うち 元請工事	173,000 千円					

最終ページにおいて、全ての完成工事の件数及び請負代金の額の合計を記載